

市議会だより

 しぶかわ

発行◆渋川市議会
編集◆渋川市議会報編集委員会

2017年〈平成29年〉
11月15日第**48**号

広報と一緒にとじて保存しましょう

平成 29 年

9月渋川市議会定例会

表紙の写真：十五夜の「おてまる（おだんご）」づくり
（伊香保保育所）

- 本会議のあらまし…………… 2ページ
- 高木市長の施政方針説明…………… 3ページ
- 税金の使い道をチェックしました（平成28年度決算審査）…………… 4～6ページ
- 各常任委員会の審査…………… 7ページ
- 一般質問（11人の議員が市政を問う）…………… 8～14ページ

平成29年 9月定例会

新市長就任後初の定例会

あらまし

平成29年9月定例会は、市長選（8月27日）があつたため、9月20日から10月12日までの23日間の日程で開催されました。報告7件、人事案件2件、条例改正2件、条例制定1件、平成29年度補正予算10件、工事請負契約の締結1件、平成28年度決算13件、意見書1件です。報告と人事案件、意見書を除く一般議案と補正予算（追加議案を除く）は各常任委員会へ、決算議案は決算特別委員会へそれぞれ付託され審査を行いました。工事請負契約の締結は否決され、その他の議案は原案のとおり可決・同意・認定されました。意見書は全員一致で可決となりました。

人口減少対策に事業補正

平成29年度一般会計補正予算（第2号）は、平成29年度一般会計に、歳入歳出それぞれ1億2003万8000円を追加し、予算総額338億4888万7000円とするものです。

主なものは、洪川市人口減少対策本部運営事業、生活道路等緊急整備事業等で、賛成多数で可決されました。

その他、国民健康保険特別会計補正予算等8件の特別会計補正予算は全員一致で可決されました。

衆議院選挙に伴う予算補正

9月28日の衆議院解散に伴う選挙（10月22日投票）のため、急ぎよ、補正予算（第3号）が生まれ、一般会計予算に、歳入歳出それぞれ3725万7000円を追加し、予算総額338億8614万4000円とするもので、全員一致で可決されました。

人権擁護委員候補者の推薦の同意

人権擁護委員の候補者に、塚原優氏、生方子氏を推薦するもので、全員一致で同意されました。

洪川市工場立地法に基づく地域準則条例を制定

工場立地法の規定に基づき、緑地面積率等の基準を緩和する地域準則を定めるための条例制定で、賛成多数で可決されました。

洪川市総合公園陸上競技場グラウンド舗装工事請負契約の締結は否決

陸上競技場のグラウンド舗装一式の契約は、条件付き一般競争入札で、契約金額は3億3696万円。公告日は平成29年8月22日で、開札は平成29年9月8日、入札参加業者は市内3業者でした。



改修中の洪川総合公園陸上競技場

記名投票の結果、賛成少数で否決となりました。

平成28年度決算

一般会計については、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支が、20億1374万9328円の黒字で、財政調整基金へ10億円を繰り入れました。実質単年度収支額は、5億5710万3471円の赤字でした。賛成多数で認定されました。

特別会計については、国民健康保険及び介護保険が多数決で認定され、他の特別会計については全員一致で認定されました。

高木市長の施政方針説明

1期目の市政運営に臨む所信の一端が、市長から説明されました。
それに対する議員からの質疑、市長の答弁の一部を紹介します。

人口減少突破

質疑 人口減少対策本部はどのような権限と組織なのか。

市長 市長を本部長として全庁一丸となって意識の共有と外部の意見を聞き調整していきたい。

質疑 「消滅可能性都市」の対応は。

市長 新産業ゾーンによる企業誘致など、働く場の確保を県と相談しながら進め、渋川に住んで良かったと思えるまちづくりに取り組みます。

子育て支援

質疑 出産や小児医療の環境づくりの取組みと保育料完全無料化の施策展開は。

市長 渋川医療センターや群馬大学などの医療機関と相談しながら進めます。保

育料の完全無料化については、将来の渋川のための投資的な経費であり、財政状況等勘案しながら進めます。

安心・安全・暮らし

質疑 高齢者の足の確保についての具体的な対応は。

市長 手法としては、デマンドバスや乗合タクシーなどの組み合わせや配車システムなど、あらゆる方法を考えたい。

活力とうるおい

質疑 J R八木原駅を中心とした地域整備の基本は、J R八木原駅の橋上化または東西連絡橋であり、立地適正化計画の作成は。

市長 J R八木原駅は大きな可能性を秘めた駅であり、地域の活性化と利便性の向上に向け、J R東日本高崎支社等と相談しながら進め

市長施政方針（抜粋）

1 人口減少危機突破

人口減少対策本部を設置し、企業誘致、雇用創出、観光振興など、あらゆる政策を動員し、人口減少対策に取り組みます。

2 子どもがいきいきとすこやかに育つ渋川

出産や小児医療の環境づくりを進めるとともに、切れ目のない子育て支援の充実に努めます。

保育料の完全無料化など新たな施策の展開を図ります。

3 安心・安全・暮らしやすい渋川

高齢者の足の確保に努めます。地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。新たに生活道路等緊急整備事業を実施し、自治会などの地域の要望に迅速に対応します。

4 活力とうるおいのある渋川

J R渋川駅東側の整備や駅前通り商店街への創業支援などを行い、中心市街地の再生に取り組みます。

南部地域の活性化を目指してJ R八木原駅を中心に地域整備に取り組むとともに、東部、北部においても均衡ある発展を進めます。

5 力強い渋川の経済

農業者の意見をもとに「農業振興計画」を策定し、強い農業を目指します。また、人材育成に取り組むとともに、観光農業、地産地消等、多角的な農業施策の展開を図ります。

頑張る中小企業を支援し、地域産業の発展に努めます。

6 渋川の未来のための行財政改革

現在、市は多額の市債残高を抱え、普通交付税も段階的に縮減されるなど、厳しい財政状況にあります。

今やるべきことは何か、施策を吟味・選択し、既存の事務事業を徹底して見直し、無駄のない効率的な市政を推進します。

ていきたい。立地適正化計画は、関係部署に指示して早急に進めたい。

行財政改革

質疑 市長の考える行財政改革とはどのようなものか。

（仮称）東部学校給食共同調理場は一旦凍結とあるが、どのような経緯でこの方針になったのか。

市長 プライマリバランス（基礎的財政収支）をできるだけ早い時期に黒字化することにより借金体質から脱却したい。（仮称）東部学校給食共同調理場に限り、既存の事務事業を徹底して見直し、財政再建や新たな行政需要に对应していきたい。今後、よく精査し

再評価して再検討します。
質疑 「あれか、これか」の施策を吟味・選択して進めるとあるが、市民の理解を得るには、どのような基準を考えているのか。
市長 枠配分方式が簡単で納得しやすいのかもしれないが、必要などころにはしつかり予算を確保し、優先度の低いところは減らすようなメリハリをつけ、市民の評価を得られるような選択をしたい。

平成28年度決算を認定

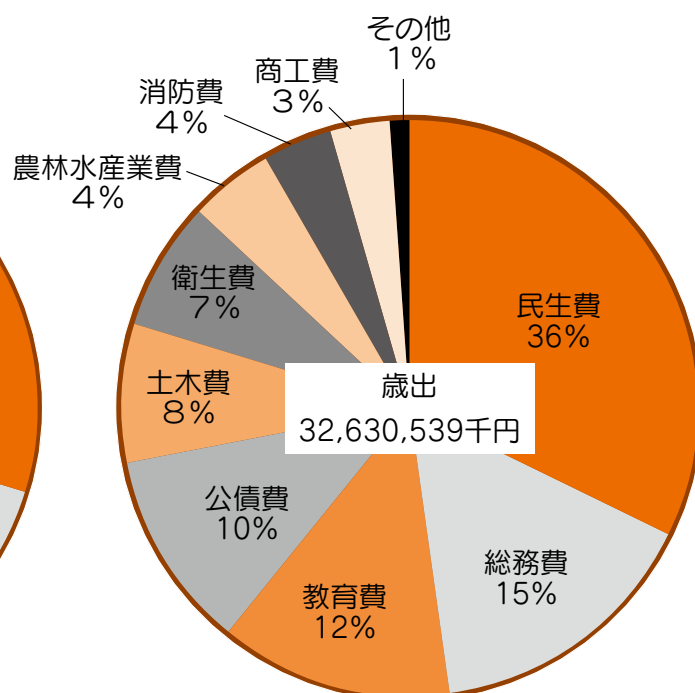
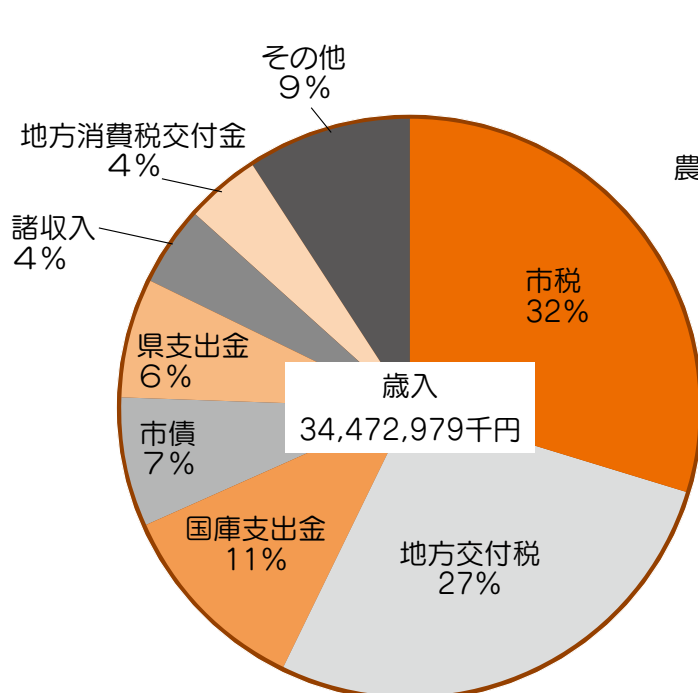
決算特別委員会

歳入額 608億257万15円

歳出額 594億773万2417円

	歳入	歳出
一般会計	344億7297万9249円	326億3053万9770円
特別会計	国民健康保険	111億4591万3971円
	後期高齢者医療	9億5796万4609円
	介護保険	79億8683万5198円
	農産物直売事業	1760万5976円
	伊香保温泉観光施設事業	1億 330万 940円
	小野上温泉事業	3346万2987円
	交流促進センター事業	589万 829円
	下水道事業	22億6168万7443円
	農業集落排水事業	14億1554万3163円
	個別排水処理事業	2440万8668円
	簡易水道事業	2億6011万5544円
企業会計 (水道事業)	収益的支出	15億7378万7504円
	資本的支出	9億9067万5815円

一般会計決算額の内訳



〈みなさんの税金の使い道の一部です〉

土木費

24億5762万円

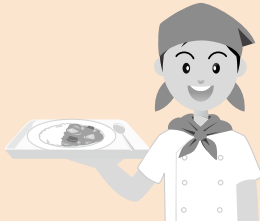
総合公園陸上競技場
改修事業
9594万5200円
(主)高崎渋川線バイパス
関連市道整備事業
5314万80円



教育費

40億6488万円

通学バス運行事業
1億571万9240円
学校給食用物資購入費
3億4340万8277円



総務費

47億4507万円

総合病院跡地利用施設
整備事業
1億131万4800円
乗合バス運行費補助事業
1億5236万1206円



民生費

118億1926万円

子育て支援拠点施設
整備事業
3億9351万9041円
こども夢基金
8443万5720円



商工費

9億7314万円

空き店舗活用にぎわい創出
推進事業
2045万4874円
観光PR推進事業
1800万円



消防費

11億9842万円

防災行政無線維持管理事業
2222万940円
消防ポンプ車購入事業
4632万332円



農林水産業費

14億6977万円

選別農薬農法推進事業
278万5662円
有害鳥獣駆除対策事業
1758万9702円



衛生費

22億88万円

感染症予防事業
1億8212万3952円
じん芥処理事業
2億1001万5693円



平成28年度決算の審査において行われた
主な質疑を紹介します。

平成28年度一般会計

市税の収納

質疑 滞納市税の収納対策は。生活困窮者への対応は。

答弁 滞納にならないよう早期に対応に着手しているほか、夜間窓口延長や休日窓口等を実施し納付相談も行っています。生活困窮に陥ると判断された場合は、滞納処分後に改めて財産調査を行い、滞納処分の停止をしています。

渋川市美術館

質疑 渋川市美術館の収入

が支出に比べてあまりにも少なすぎるのでは。対策は。
答弁 来館者を増やすために平成25年度から常設展示場でコンサートを開催しています。また、子どもたちの展示会の来場者に1階の常設展示の入場券を配布したり、フェイスブックを通

して周知をしています。

渋川すこやかプラザ

質疑 渋川すこやかプラザ

の設備工事請負費について、外構工事など高等教育機関に関する部分も子育て支援の予算で執行しているようだが、不適当ではないか。
答弁 多くの市民が利用交流する拠点であり、安心安全に使用するための必要な設備改修ということと、一体施工が適当であるとの判断から執行しました。なお、学園開設に必要な内装や備品等の部分については、学園が負担しています。

JR在来線整備促進

質疑 JR在来線整備促進

事業は活動しているのか疑問である。先日、JR新前橋駅を発着駅とするダイヤ改正もあった。今後この事業をどのような方向性で進めていくのか。

【答弁】 JR東日本高崎支社に上越線・吾妻線の全ての列車の発着を高崎駅とすること、また、特急草津がJR長野原草津口駅、川原湯温泉駅に停車することを要望しているところです。

旧伊香保行政センター庁舎再編

【質疑】 旧庁舎の解体と駐車場整備が遅れているが、何が問題になっているのか。

【答弁】 地盤が非常に急傾斜で、県道との取付けの問題もあったことから、平成30年度までに設計し、平成31年に取り壊し、平成32年に駐車場を整備する予定です。



解体予定の旧伊香保行政センター

こども夢基金

【質疑】 こども夢基金の使い方について、給食の食材購入費に充てられているが、本来の目的に合致するのか。先端的、試行的な施策に充てるべきではないか。

【答弁】 子育て支援として、給食費第3子以降免除分の財源として充てたものです。今後とも充当事業については改めて基金の目的を十分に認識した上で精査していきたいと考えます。

スポーツ指導者派遣

【質疑】 スポーツ指導者派遣事業の費用と派遣選定の状況は。

【答弁】 指導者派遣については1時間あたり2千円、1競技あたり10万4千円を限度としています。選定基準はそれぞれ中学校から要望があり、中学校ごとに精査しています。

学校給食アレルギー対応

【質疑】 学校給食のアレルギー対応について、平成22年にアレルギー対応給

食調理室の設置を決めてから6年が経過した。なぜ進まないのか。実施の目的はあるのか。

【答弁】 各学校との調整、調理場の体制整備等の着手が遅れたため実施に至っていません。平成29年度における対応が必要な生徒児童数は85人です。学校のアレルギー対策は進んでいますので、学校と合意形成がとれた時点で、安全性を期して実施したいと考えています。

武道館の備品管理

【質疑】 渋川市武道館のトレーニング室は多くの人が利用するが、器具が故障したまま放置されている。管理はどうなっているか。全てリースにすれば更新、修繕の面で効率的ではないか。

【答弁】 器具の修繕については予算に限りがあり、計画的に対応しています。リース化については現在策定の整備計画で検討しています。なお、これまでの利用者数は平成28年4月現在で2万3488人です。

北橘運動場

【質疑】 (仮称)北橘運動場多目的運動場造成工事修補事業の内容は。

【答弁】 ブロック塀西側擁壁の一部が倒壊したため、修補工事を施工したものです。

平成28年度特別会計

国民健康保険税

【質疑】 国民健康保険税の引下げの考えは。

【答弁】 平成30年度から県と共同になり、国保制度そのものが大幅に変わることから、財政の仕組みも大幅に変わります。県から示される標準保険料率を参考に検討します。

国保あかぎ診療所

【質疑】 国保あかぎ診療所は一般会計から繰り入れて運営しているが、きちんと経営分析をしているのか。診療所の今後のあり方をどう考えているのか。

【答弁】 経営分析はしていませんが、運営会議を開催し、

夜間診療や各種健康相談の実施など検討しています。また、高齢者の足の確保の観点からも、訪問診療に特に力を入れていきたいと考えています。

要介護高齢者の生活援助

【質疑】 生活援助食事サービスの現状は。

【答弁】 これまで1回だったものを平成28年度から3回に拡大して実施しています。食事の準備は業者に委託をして、2カ所で実施しています。延べ配食数は1万133食で、173人が利用しました。



国保あかぎ診療所

常任委員会の審査

総務市民

第3次洪川市安全で安心なまちづくりを推進する計画

協議会案件として、子ども
の安全を守るための防犯
ブザー、防犯パトロール、
防犯カメラの設置、防犯灯
の設置等について市から報
告があり、活発に意見交換
が行われました。

なお、付託議案はありま
せんでした。

経済建設

洪川市総合公園陸上競技場
グラウンド舗装工事請負契
約の締結について

入札、発注方法等につい
て質疑がありました。工種
の特殊性、入札条件等を考
慮し、分割発注なども含め、
改めて検討すべきではない
かとの意見が出され、採決
の結果、否決されました。

教育福祉

洪川市介護保険条例の一部
を改正する条例

所得の少ない第1号被保
険者についての介護保険料
の軽減措置を延長するため、
所要の改正を行うものです。
全会一致で可決しました。

予算

平成29年度一般会計補正
予算は多数決で可決され、
国民健康保険特別会計ほか
7議案は全会一致で可決さ
れました。

黄金の湯 湯湯ポンプ改修

質疑 伊香保温泉黄金の湯
源泉湯湯ポンプ改修補助事
業の経緯、事例は。

〔答弁〕 5月9日にポンプが
故障し湯量が毎分100リ
ットル減少したため、ポン
プを入れ替えるものです。

300万円の全額補助です。
旧伊香保町で維持管理費を
補助した事例があります。

生活道路等緊急整備事業

質疑 事業費の各行政セン
ターへの配分は。また、行
政センター所長に執行権限
がないが。

〔答弁〕 施工予定箇所は未定
です。自治会要望から準備
でき次第、施工していきたい。
また、行政センター所
長が必要と判断したものにつ
いては、迅速に調整を行
い、土木維持課で工事発注
していきます。



黄金の湯 湯湯ポンプ

討論

9月定例会では議案6件について、討
論が行われました。主な討論の概要を報
告します。

討論とは、議案等を議決するために賛
成・反対の意見を述べることを言います。

「平成28年度洪川市一般会計歳入歳出決算について」

賛成

剰余金10億円を基金へ
積み立て、堅実な財政運
営がなされ、洪川駅前駐
車場整備や「すたていば
んく」など中心市街地活
性化を初め、洪川すこや
かプラザ、地域医療や市
民福祉の推進、南部地域
振興など、計画に基づき
様々な取組がなされた。
引き続き積極的に施策展
開し、市民福祉の向上が
図られることを新市長の
手腕に期待しつつ賛成。

反対

子育て支援拠点施設整
備の施工部分に、20年間
無償貸付をされているパ
ース学園の管理部分が含
まれていた。学園の負担
もない。これは施設維持
管理を名目とした混同で
ある。学園との協定を検
証し、不具合は見直し、
市民からなぜ学園だけ優
遇するのかと指摘されな
いような施策の展開を。

反対

本決算は国の個人統制
につながりかねないマイ
ナンバー制度を是として
いることと、産業廃棄物

一般質問

～ 11人の議員が市政を問う～

※ 一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

P 9 平方 嗣世 議員

- 渋川市の現実と将来像について
 - 1 人口減少について
 - 2 財政について
 - 3 中長期的なビジョンについて

P 9 星野 安久 議員

- 公共施設等の適正な管理運営
 - 1 公共施設の有効活用と廃止処分
 - 2 市所有の観光施設の今後の管理、運営の見通し
 - 3 廃止された道路敷・水路敷の取扱い
- ゴミのポイ捨て防止条例制定の考えは

P 10 田邊 寛治 議員

- 各事業における実績と課題について
- 渋川再生の考え方

P 10 中澤 広行 議員

- 新市長に問う
 - 1 財政問題
 - 2 人口減少問題
 - 3 施策の継続

P 11 山崎 正男 議員

- 観光施策について
- 路線バス運行経路の見直しを

P 11 山内 崇仁 議員

- 渋川すこやかプラザの現状と今後について
- 北部振興について

P 12 細谷 浩 議員

- これからの渋川市について
 - 1 農業振興
 - 2 にぎわい創出
 - 3 生活環境整備

P 12 加藤 幸子 議員

- 高木市長の目指す市政について
 - 1 人口減少対策について
 - 2 子育て支援拡充について
 - 3 安心・安全・暮らしやすい渋川について
 - 4 公平・公正・責任ある市政とは

P 13 角田 喜和 議員

- 学校給食関連について
- 環境問題について
- 市道金井大野線の改修及びスカイランドパーク駐車場整備について

P 13 池田 祐輔 議員

- 防災・減災における行政の責務について
- 市長の選挙公約について

P 14 南雲 鋭一 議員

- 第2次渋川市総合計画策定にあたり

一般質問の詳しい内容は会議録またはインターネット録画配信をご覧ください。
渋川市議会ホームページからご覧いただけます。

渋川市議会ホームページ

会議録検索システム

議会放送システム

一般質問

質問 新たに道路が開通すると、栄える地域、衰退する地域が必ず発生する。上信自動車道の開通が市に及ぼす影響を検討しているか。

過疎対策 平成30年度以降毎年25億円を借り入れた場合、平成32年度の約41億円をピークに緩やかに減少します。減債基金の投入基準の35億円を超える償還は平成41年度まで見込まれます。

質問 借金には利息がつく。市債の返済ピークは平成32年度の約41億円であり、平成39年度まで38億円前後の返済が見込まれる。その後、この状態は何年続くのか。

元利償還額について 企画部長 この3年間で、人口は減少しています。人口減少対策に係る施策評価は、総合計画の総括とあわせて行いたいと思います。

人口減少について 質問 人口減少対策基本方針が発表されてから3年。この間の市の人口推移について検証と対策を実施すべきと思うが考えは。



平方 嗣世

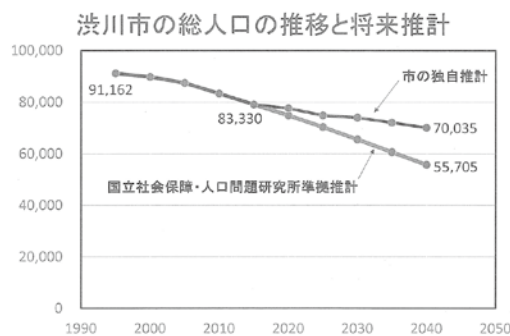
渋川市の現実と将来像について

企画部長 上信自動車道周辺にある目的地までの移動時間が短縮される一方、既存の道路周辺の施設利用者の減少が懸念されます。

職員の業務改善意欲

質問 業務提案について、PDC A、OJT等の手法を活用し、職員の能力、やる気を起こさせる充実した制度にすべき。その考えは。

企画部長 職員提案事業を充実し、職員の企画力・提案力を高め、職員の自由な発想による市民サービスの上と、行財政改革の推進につなげていきます。



渋川市の人口推計

質問 市営のいくつかの温泉施設を民間譲渡する考えのようだが、どのような見通しか。

商工観光部長 施設のあり方を検証する有識者会議の結果に基づき、市の方針を策定し、その方針に沿った取り組みを進めます。

質問 地域にとってよりどころの行政センターに空きスペースが目立つ。どのような利用を図るのか。

企画部長 空きスペースについては、市の他の施設の移転や関係団体等への貸出しを含めて、活用策を検討しているところです。

質問 小中学校の統廃合による廃校舎は、民間利用、地域への開放、あるいは学童保育に使うのか。効率的な利用計画はあるか。

総務部長 未利用財産については、平成27年度に策定した市有財産利活用基本方針に基づき、庁内検討委員会での公益性や市場性など優先度の高い財産から、個別方針を定め、貸付けによる積極的な有効活用や売却処分を行いたいと考えます。



星野 安久

公共施設の適正な管理運営を

質問 廃止された道路敷・水路敷を隣接土地所有者へ払い下げる考えは。

建設部長 市民からの払下げ申し出により機能損失や埋設物等の確認を行った上で対応しています。

ゴミのポイ捨て防止条例を

質問 町に散見するポイ捨てのゴミ。渋川の町を守るため、ポイ捨て防止条例制度の考えは。

市民部長 環境づくりのため、マナー啓発の推進を行い、あわせて条例制定についても、実効性など先進自治体を参考に研究します。



有効利用が望まれる廃校舎

一般質問



田邊 寛治

新市長、渋川再生の考え方

質問 新市政への決意と渋川の未来像は。

市長 県内12市で最大の人口減少率と一人当たりの借金額という課題を克服し、渋川を元気にしたい。

質問 教育現場の現状、教育予算、教員の負担軽減。

教育部長 教育現場の現状では、学校訪問や県協議会等から、教職員の負担感をとらえています。教育予算では、施設の老朽化対応に多くの費用を計上しています。教員の負担軽減では、時間外の労働時間や内容等を把握していきます。

質問 ゆとり教育の対応と教育の無償化。

教育部長 ゆとり教育の対応では、本来の考え方を基に、知識偏重から自ら学び考える教育への転換を図っています。教育の無償化は、本市では次代を担う子どものために、教育の充実を目指しています。

質問 渋川医療センターに産科、小児科の設置をどう進めるか。

市長 医師の供給体制が整っていない現実があり、設置は難しいと

ころですが、設置に向け群馬大学等と話し合いたいと思います。

質問 (仮称) 東部学校給食共同調理場の凍結、中止の理由は。

市長 市が取り組んでいるそれぞれの事業をゼロベースで見直す中の一つとして、あらゆる観点から見直しを検討して行きます。

質問 渋川再生、行財政改革。

市長 健全な行財政運営など、子ども、孫たちに立派な暮らしの環境をつくり、引き継いでいくため、当面の課題への対応とともに、将来を見据えた市政運営を行いたい。



産科・小児科の設置が待たれる
渋川医療センター

財政問題

質問 危機的財政状況という認識であるが、いかなる点での見解か。

市長 地方財政は国の財政の中に組み込まれており、国の財政が危機的状況の中、指標を見ただけでは市の財政が健全とは言えません。

質問 高額な地方債残高の反面、高額な減債基金(内部留保)がある。将来世代負担にならぬよう計画的に起債をしている。見解は。

市長 地方債のピーク時に備え減債基金を有効に使い、その上で無駄な事業を廃止するなどして地方債残高を減らしたいと考えます。

質問 資産(施設)の老朽化が喫緊の課題。今後も有利な起債を活用し克服すべきだが。

市長 有利な起債など使うべきものを使う一方で一般財源の確保が必要。この両面から施設等の老朽化に対応したいと考えます。

人口減少問題

質問 JR湘南新宿ラインの渋川駅乗り入れは、利用者の増員とともに自治体の財政負担が必要。列



中澤 広行

新市長に問う

車編成の方法やJR渋川駅以北の自治体との研究が不可欠だが。

市長 駅舎の改良など物理的な問題もありますが、まずは利用者を増やすため、北毛地域自治体と連携し鉄道利用者の増加を図ります。

質問 保育料の完全無料化には3億2000万円が必要という。国の子育て支援の状況を注視しつつ、慎重な判断を求めるが。

市長 未来への投資として保育料無料化を実現したいと考えています。実施の場合は、国の動向等を踏まえて制度を考えていきます。



乗り入れの可能性は？湘南新宿ライン

一般質問



山崎 正男

観光施策について

観光施策について

質問 市の観光の玄関口はどこを考えているか。渋川伊香保ＩＣのアナベルの花を毎年きれいに管理できないか。

商工観光部長 渋川伊香保ＩＣとＪＲ渋川駅とを考えます。また、上信自動車道の開通に伴い、（仮称）下川島ＩＣを伊香保温泉の玄関口と位置づけ、誘客に努めます。

建設部長 中村自治会とＮＰＯ渋川ものづくり協議会と協働し、アジサイを観光客にＰＲできる場として適正な管理に取り組みます。

質問 ＪＲ渋川駅前バス待合所を改修して「しぶさん」の売場とし活用できないか。

商工観光部長 店舗の広さや駅利用者の待ち時間など、立地条件を考慮し現在の位置とした経緯から、既存の「しぶさん」の利用促進を進めていきます。

質問 渋川スカイランドパークに若者も楽しめるアトラクションの建設を。

建設部長 当該施設はファミリー



渋川伊香保ＩＣ玄関口のアナベルです

向けとしてご利用いただいております。大型アトラクションの導入は困難であり、今後もリニューアルの中で検討してみたいと考えます。

路線バスの見直しをしてください

質問 路線バスの利便性を考えて、地域の要望等をよく聞いて、市民が利用しやすい運行形態に。

市民部長 利用者の利便性向上と効率的な運行を目指して、運行時間や運行本数の調整、路線の見直しなどを含め検討し、新たな運行方法についても調査研究し、効果的なバス運行を目指していきます。



山内 崇仁

渋川すこやかプラザの現状と今後について

質問 子育て支援、高等教育機関、高齢者地域支援施設の連携がどのように行われているのか。

保健福祉部長 関係機関による連携調整会議を実施していますが、今後も事業展開について検討していきます。

質問 未就学児と小学生を連れて来場した親子、小学生同士で来場した場合のキッズランドの対応は。

保健福祉部長 当施設は未就学児を対象としています。支障のない範囲内で保護者に見守りいただきながら利用いただいています。

質問 ３階の利用予定はどうなっているのか。発達障害児等が利用できるスペースを設けることができるか。

保健福祉部長 ３階の活用は現在決まっていますが、今後、関係部署と連携し検討します。その中で発達障害児等の利用についてもあわせて検討します。

北部振興について

質問 上信自動車道の整備が進んでおり、金島地区に３つのランプ

が計画されているが、アクセス道路の整備はどのように進めるのか。

建設部長 ３つのランプのうち、（仮称）下川島インターのアクセス道路となっている市道折原川島線は道路整備を計画しています。

質問 金井の産業道路沿いのパチンコ店が撤退し、広大な敷地が更地となっているが、「新産業ゾーン」として企業誘致できないか。

商工観光部長 適地と考えます。関係機関と連携し積極的に誘致を進め、北部開発、人口減少対策に結びつけていきたいと考えます。



関係機関との連携が期待される
渋川すこやかプラザ

一般質問



細谷 浩

どうする？これからの渋川

農業振興計画

質問 選別農業農法（しづせん）の登録制度が4年目を迎えたが、安定した増産、流通にどう取り組むのか。

【農政部長】 学校給食の利用や直売所での販売等により地産地消を進めるとともに、農法の普及や登録者と生産量の増加を図り、消費流通の拡大に取り組みます。

質問 市長の施政方針の中に「農業振興計画」を策定するところがあるが、市長の考える渋川の農業未来像はどのようなものか。

【市長】 市内では様々な農業の形態が展開されており、農業都市と言えます。この多様性のある農業をしっかりと伸ばして、産業としての強い農業を考えています。

にぎわい創出

質問 「新産業ゾーン」をつくり企業誘致とあるが、有馬企業団地の拡張の可能性と従業員駐車場の整備計画は。

【商工観光部長】 産業団地の造成は人口減少対策に有効と考えます。



供用開始が待たれるデマンドバス

有馬企業団地拡張に限らず事業化には様々な調整が必要となります。駐車場確保については、関係部門で協議中です。

生活環境整備

質問 南部地域に高齢者が利用しやすい交通手段の整備が求められている。デマンドバスや乗合タクシー等の早急な整備を期待するが。

【市長】 公共交通機関のあり方も含めて関係機関や地域の人たちに意見を聞き、早急に具体化していきたいと考えます。



加藤 幸子

公平・公正・責任ある
市政の実現を

質問 市民は、市長公約である「公平・公正・責任」の市政を望んでいる。今後の市政運営と人口減少に関する増田レポートへの見解を市長に問う。

【市長】 法令を遵守して市政運営に当たり、その結果責任は市長が負うというのが私の基本的な理念です。市長を本部長とする人口減少対策本部を速やかに設置し、各種取組を効果的に推進していきたい。

質問 少子化は避けがたい「自然現象」ではなく、政策的に生み出された社会問題。結婚・子育てのできる環境整備が必要。市でも臨時職員の生活が保障されることが大事と思うが市長の考えは。

【市長】 労働環境に関しては、各労働者がしっかりと労働に見合った給与所得を得られるような環境ができていくことを私も願っています。

質問 行政センターは地域の要と思うが、市長の行政センター充実の考え方は。

【市長】 分権と集中の中で、地域の



未来に向かって走れ、子どもたち

要望はできるだけ地域の中で、スピーディーに細やかな対応が行える体制づくりが必要だと考えます。

質問 学童保育所は、保護者の保育料と市助成金で運営。預けられなくても保育料が高く、預けられない母子家庭等の保育料の減額。誰もが預けられる保育料設定を。

【保健福祉部長】 母子家庭等の保育料減免は、現在6つのクラブで行われていますが、ひとり親世帯の支援については、財源の問題も含めて今後検討して行きたい。

一般質問



角田 喜和

地下水汚染は深刻、安全対策を急げ

質問 洪川スカイランドパーク入り口の市道と第1、第3駐車場は、でこぼこのままだが改修計画は。

また、地中の鉄鋼スラグは撤去すべきと考えるがどう処理するのか。

建設部長 市道は、土壌調査業務委託を発注し、駐車場については、個別契約の締結に向けて協議を行っています。また、鉄鋼スラグの撤去については、国・県・市で構成する第3回鉄鋼スラグに関する連絡会議で示された基本方針に従い対策を進めます。

質問 金井りんご団地南の産業廃棄物処分場の地下水が10年前から汚染されていることが新聞報道で明らかになった。市として関係する法人に対策を講じるよう早急に申し入れる考えは。

市民部長 工事については、県の許可のもとに行われています。今回の産業廃棄物処分場については、洪川市内にある処分場なので、今後は県及び処分場設置者とも積極的に関わっていきたいと考えています。



小林製工運送・産廃処分場

質問 南部・北部学校給食調理場でのアレルギー対応食を進めるには人員不足や周知不足がある。校長会からは学識経験者等を入れた検討会の設置をとの話を聞いている。検討会を設置して、意見交換し、時間をかけて慎重に行うべきではないか。

教育部長 校長会や学校関係者等の意見を聞き、お互いに確認しながら検討し、十分理解を得た上で体制を整え、慎重に対応していきたいと考えています。



池田 祐輔

防災・減災における行政の責務

質問 災害種別図記号を使用した避難所等の標識への更新と避難誘導看板の設置についての取組みは。

総務部長 指定避難所については、統一した表示の設置を行います。避難誘導看板については、観光客の多い地域を優先するなど、順次設置を検討します。

質問 一般家屋の耐震化工事もしくは簡易補強工事・耐震シェルター設置に補助を拡充する考えは。

建設部長 現在の耐震改修補助制度に加えて、建物の一部を減災化できる耐震シェルター等設置補助制度も検討していきます。

質問 弾道ミサイル飛来時に備えた避難訓練の必要性は。また、小中学校での指導は。

総務部長 市民が適切な対応をとれるよう、防災講座や防災訓練等、機会を捉えて周知します。

教育部長 小中学校では、Jアラート発令時の状況に応じた適切な行動について指導しています。

市長の施政方針
質問 今後、企業誘致において特



全国で統一される災害種別図記号標識（例）

に注力し取組んでいくポイントは。
商工観光部長 本市の優位性、周辺環境などを考慮し企業誘致していきたいと考えます。まず、既存の空き地や工場跡地を活用するようしていきたいと考えます。
質問 JR八木原駅周辺整備・古巻公民館の建て替えに関する市長の考え方は。
市長 JR八木原駅周辺整備による南部地域の活性化が市発展のエンジンとなるよう全力を尽くします。公民館については地域の意見をよく伺い整備したいと考えています。

一般質問



南雲 鋭一

第2次浜川市総合計画 策定にあたり

質問 浜川市総合計画には「地区の特性を活かしたまちづくり」があったが、第2次浜川市総合計画（案）には見受けられない。その扱いはどうなるのか。

企画部長 第2次浜川市総合計画の策定に向けて開催した地区別懇談会において、今後の各地区のまちづくりについて多くのご意見がありました。これらのご意見を踏まえ、現在、第2次総合計画の中にどのような形で反映していくか、調整作業を進めています。

自治会等の協働による地域づくり 各地区で行われる夏祭りなどへの助成の考えは。

商工観光部長 祭りの実施主体、目的、規模、総事業費、自己資金の有無などを総合的に判断し補助を行っています。

質問 道路愛護活動に対する助成制度の導入の考えは。

建設部長 新たな助成金等の制度導入につきましては、今後の研究課題とさせていただきます。

質問 自主防災組織の自治会から

の独立と助成制度導入の考えは。

総務部長 自治会内に防災の下部組織をつくる等、安定した活動が行えるよう、助言指導します。

活動支援については、自治会に対する交付金等を含めて支援することも検討します。

質問 自治会等のあり方について市長の考えは。

市長 自治会を含め、地域の安心安全を守るために活動している団体等が、連携を行う必要があると考えます。そのためには、市がしっかりと協働していきます。



地区の特性を活かしたまちづくり

議会の用語を 解説します

〔一般質問〕

議員が、市政をチェックするために、市長などに対し、市の事務の状況や将来に対する考え方などについて質問し、報告や説明を求めるものです。

また、政策的な提言や行政への批判を行い、問いただすこともあります。

質問の範囲は、市政全般のほか、地域で住民生活に密接している事項など多岐にわたっています。

〔専決処分〕

本来、議会が決定することを、市長が代わって処分することです。専決処分が許されるケースとしては、

- ① 軽易な事項等であらかじめ専決処分が認められているもの。
 - ② 解決に急を要する事項で、議会を招集する時間がない場合など、法律の規定に基づくもの。
- があります。

議会往来

10月

▽16日 千葉県横芝光町議会が視察来庁（学校給食費の完全無料化について）

▽25日 山口県美祢市議会が視察来庁（介護予防応援ポイント事業について）

▽27日 茨城県つくばみらい市議会が視察来庁（空き家対策計画について）

11月

▽6～8日 議会運営委員会が長崎県諫早市、大分県大分市へ行政視察

議会人事

8月

▽31日 丸山正三議員が市議会議員を辞職。

9月

▽26日 今井五郎議員が予算常任委員長を辞任。入内島英明議員が予算常任委員長に就任。

行政視察報告

総務市民常任委員会

日時 7月12日～14日

場所 秋田県大館市

青森県弘前市

民間事業者による空き公共施設の有効活用

大館市では、市町村合併で増加した空き公共施設の有効活用を図るため、民間事業者への譲渡、貸出を推進していました。

空き公共施設等利活用促進条例を制定し、施設を利用する民間事業者へ、正社員の雇用、地域貢献などを条件に、施設の譲渡費用や貸付額の軽減、増改修費用の助成など、優遇措置を設けています。平成25年から4施設の実績がありました。**市民参加型まちづくり1%システム**

弘前市では個人市民税の1%相当額を、市民みずからが実践するまちづくり・地域づくり活動への補助金

に充てていました。一定の条件をクリアすれば誰でも応募可能で、補助額の上限は原則50万円です。過去6年間で計284件の実績がありました。

経済建設常任委員会

日時 6月28日～30日

場所 鳥根県出雲市

鳥取県倉吉市

出雲ブランド商品の認定

出雲市では出雲のブランド力を活用した産業振興を行っていました。

市場性、将来性のある地元商品を出雲ブランドとして認定し、名称に「出雲」を使用することで、販路生産の拡大、出雲の知名度やイメージの向上を図り、企業活動のさらなる活性化を促進していました。

お試し住宅

倉吉市では、人口減少対策として、移住検討者に市

の良さを体感してもらう事業を実施していました。

市内の空き家にお試しで一定期間滞在してもらい、実際に倉吉市の風土や気候、地域住民との交流、農業体験や田舎暮らしの良さを体感してもらいます。

現在、市内2カ所の空き家を整備して活用しており、移住者には補助金を交付して支援しています。

教育福祉常任委員会

日時 7月5日～7日

場所 秋田県北秋田市

山形県新庄市

あきたリフレッシュ学園と教育留学事業

北秋田市では、県内外の不登校の小・中学生を対象に、恵まれた自然を生かした体験活動を中心として、心身をリフレッシュできる場所を提供していました。

入園者は9年間で延べ100人を超え、復帰率は80%以上でした。また全国学力テスト正答率トップクラス

の常連である実績を背景に、県外から教育留学生を募り、教育や自然を体験してもらうことで、秋田の魅力を発信していました。

義務教育学校 新庄市立萩野学園

新庄市では、学校の統廃合に合わせて小中一貫教育を進めていました。萩野学園では子どもの成長に合わせ柔軟なカリキュラムを採用していました。1年生から9年生まで一緒に活動し、新築された校内には穏やかさと活気がありました。

議会報編集委員会

日時 8月7日～8日

場所 岐阜県可児市

可児市議会の議会報リニユールの状況を視察しました。手にとって読みたくなる議会報を目指し、先進自治体を研究し、良い点を積極的に取り入れていました。レイアウトでは記事を含め込まず、余白を効果的に入れることが、記事のアピールや読みやすさにつながると説明がありました。

平成29年12月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
11/19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	12/1	2
			本会議 (開会・議案上程)	本会議 (議案上程)	一般質問	
3	4	5	6	7	8	9
	一般質問	一般質問	常任委員会 (総務市民) (経済建設)	常任委員会 (教育福祉)	常任委員会 (予算)	
10	11	12	13	14	15	16
		本会議 (表決・閉会)				
17	18	19	20	21	22	23

○本会議は午前10時から開会します。

○日程が変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

平成29年9月定例会の審議結果

条例の制定……………原案可決

○渋川市工場立地法に基づく地域準則条例

条例の改正……………原案可決

○渋川市介護保険条例の一部を改正する条例

○渋川市営住宅等条例の一部を改正する条例

その他……………否 決

○渋川市総合公園陸上競技場グラウンド舗装工事請負契約の締結について

市長専決処分の報告

○和解及び損害賠償の額を定めることについて（6件）

報 告

○平成28年度渋川市一般会計継続費精算報告書の報告について

人 事……………同 意

○人権擁護委員候補者の推薦について（2件）

人 事……………選 挙

○烏帽子山植林組合議会議員の選挙

平成29年度補正予算……………原案可決

○渋川市一般会計補正予算（第2号）

○渋川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

○渋川市介護保険特別会計補正予算（第1号）

○渋川市農産物直売事業特別会計補正予算（第1号）

○渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計補正予算（第1号）

○渋川市下水道事業特別会計補正予算（第2号）

○渋川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）

○渋川市個別排水処理事業特別会計補正予算（第1号）

○渋川市水道事業会計補正予算（第1号）

○渋川市一般会計補正予算（第3号）

平成28年度決算……………認 定

○渋川市一般会計歳入歳出決算について

○渋川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について

○渋川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について

○渋川市介護保険特別会計歳入歳出決算について

○渋川市農産物直売事業特別会計歳入歳出決算について

○渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計歳入歳出決算について

○渋川市小野上温泉事業特別会計歳入歳出決算について

○渋川市交流促進センター事業特別会計歳入歳出決算について

○渋川市下水道事業特別会計歳入歳出決算について

○渋川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について

○渋川市個別排水処理事業特別会計歳入歳出決算について

○渋川市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算について

平成28年度決算……………原案可決・認 定

○渋川市水道事業会計剰余金の処分及び決算について

意見書……………原案可決

○市町村道路関係予算の確保及び道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書

議案第93号（記名投票により否決）の賛否一覧

「議案第93号 渋川市総合公園陸上競技場グラウンド舗装工事請負契約の締結について」は記名投票の結果、賛成少数により否決になりました。各議員の賛否一覧は以下のとおりです。

議員名	池田祐輔	山内崇仁	細谷浩	星野安久	山崎正男	田邊寛治	今井五郎	安力川信之	今成信司	篠田徳壽	平方嗣世	中澤広行	山崎雄平	入内島英明	加藤幸子	茂木弘伸	南雲鋭一	望月昭治	角田喜和	石倉一夫
賛否	●	●	●	●	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	●	●	○	●	●	●

○：賛成

●：反対

※須田 勝議員は、議長職のため表決に加わっていません。

編集後記

新市長就任後初の定例会。市長の施政方針は、渋川の再生。特に基礎的財政収支を黒字化する方針だ。様々な事業をゼロベースで見直すという。見直しは大いに結構。しかし全国的に先駆けて行ってきた事業もある。議会と市職員で年単位で議論を醸成してきたこともある。市長は議会と積極的に対話することが重要だ。結論を導き出すために、丁寧な説明が求められる。

議会側も、真摯に議論を尽くさなければならぬ。決して感情的な、安易な結論を求めてはならない。そのために、市民一人ひとりに寄り添い、調査と研究の努力を惜しんでほならない。皆様の負託に応えるために。

（編集委員 安力川信之）